

平成18年12月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋	水	会	渡	辺	正	宏						
市	民	ク	ラ	ブ	鳥	井	修					
社	会	・	市	民	連	合	鈴	木	忠	夫		
フ	ォ	ー	ラ	ム	2	1	芦	田	晃	敏		
共	産	党	明	石	叡							
公	明	党	石	塚	秀	博						
新	社	会	党	・	護	憲	連	合	前	田	喜	蔵
秋	水	会	鎌	田	修	悦						
秋	水	会	小	野	寺	誠						
秋	水	会	加	賀	谷	正	美					

1 市長の政治姿勢について

- (1) 総合計画の構成を変更しようとする背景や理由及び従来 of 総合計画と対比したその効果について
- (2) 19年度から21年度における市政運営の基本的な考え方について

2 19年度予算の編成方針について

3 行政改革について

- (1) 行政経営システムの総括と今後の行政運営への反映について
- (2) 現状での指定管理者制度の導入は行政改革の考えに逆行しているのではないか

4 教育問題について

- (1) 教育委員会はいじめの実態についてどのように把握しているのか
- (2) いじめについて、詳細な実態把握のためのシステムを検討しているのか
- (3) 児童生徒への指導は具体的にどのように行っているのか
- (4) 学校はいじめる側が悪いということをきちんと認識しているのか、また、このことを教育委員会は学校側にきちんと認識させているのか
- (5) 学校としてもっと積極的にPTA活動に関心を持つべきではないか

5 臨時堆雪場として利用される街区公園の復旧について

6 観光政策について

- (1) 大森山を新たなコンセプトのテーマパークとして総合的な開発ができないか
- (2) 観光素材としての石井露月のクローズアップについて

7 大森山動物園について

- (1) 動物舎に冷暖房機能を導入する計画はないか
- (2) 動物園の強化・拡充並びに今後の方向性について

8 秋田わか杉国体について

- (1) 開催準備に関し、本市が率先垂範する考えはないか

9 地産地消について

- (1) 今後の地産地消政策の方向性について

1 地方自治法の一部改正について

(1) 今回の改正で見送られた農業委員会及び教育委員会を任意設置とすることに対する見解はどうか

(2) 地方公共団体の三役といわれる仕組みを改正することにより、組織運営面における自主性・自立性の拡大を図りながら、マネジメント機能の強化を図るといった効果が得られるのか

(3) 収入役の廃止及び副市長制の導入について

ア 本市としてのトップマネジメントのあり方はどうあるべきと考えているのか、また、この改正を受けてどのような体制を整備しようとしているのか

イ 副市長を設置することにより、意思決定命令の混乱や組織及び財政の肥大化が懸念されるが、具体的にどのように運用していく考えなのか

ウ 副市長に一定権限を移譲し、市長が高度な政治的判断を要する政策決定に注力するなど大胆な組織づくりも可能になるが、具体的なビジョンについてどのように考えているのか

2 安心して暮らせる地域社会の実現について

(1) 生涯を通じて必要な医療を受けることができる体制づくり、病院間の連携と役割分担及び医師不足の解消について、国や県に対して積極的に働きかけるべきではないか

(2) 本市における救急患者の搬送時間の現状はどうか、また、搬送時間の短縮化に向けてどのような取り組みを行っているのか

(3) 学校教育における食育への取り組みの現状はどうか、また、さらなる推進に向けてどのような対策を講じているのか

(4) 心の病が原因とされるさまざまな事件や事故が発生しているが、子供から大人までを含めた心の健康づくりについて、どのような取り組

みを行っているのか

- (5) 介護予防サービスの充実に向けて、重点的に取り組んでいる項目は何か
- (6) 生涯学習や文化・スポーツに親しむためのハード・ソフト両面からの環境整備の現状はどうか、また、今後の環境整備の進め方についてどのように考えているのか
- (7) 環境負荷が少なく持続可能な社会の形成に向けて、現状ではどのような課題があると考えているのか、また、その対策についてどのように取り組んでいるのか
- (8) 行政サービスの一環として子育て支援に今後ますます期待が高まる中で、保育サービスの充実と地域全体で子供を育てる体制整備について、どのように取り組んでいるのか
- (9) 少子高齢社会が進展する中、今後、女性や高齢者が労働者としてニーズが高まることから、女性や高齢者が能力を最大限に発揮できる環境をどのように整備していくのか
- (10)本市におけるニート、フリーターの現状と自立に向けた取り組みはどうなっているのか
- (11)障害者雇用の現状と促進に向けた取り組みはどうなっているのか

### 3 市民協働及び都市内地域分権について

- (1) 地方自治の原理・原則は「補完性の原理」であると考えており、地域社会において、自助・互助等により個人が自立することが市民協働と都市内地域分権型社会の構築に必要ではないか
- (2) 都市内地域分権の推進に当たり、新たな地域組織づくりのための担い手育成をどのように行うのか、また、既存地域組織とのかかわりをどのように整理していくのか
- (3) 「カフェテリア方式」による都市内地域分権について、どのように考えているのか
- (4) 市民協働及び都市内地域分権の推進に当たり、当面の課題及びその

対応策をどのように考えているのか

4 本市のがん対策に対する取り組みについて

- (1) 本市のがん対策の現状はどうなっているのか
- (2) がん検診の受診率はどうなっているのか
- (3) 受診率が低い原因はどこにあるのか、また、受診しないのはどのような理由によるものか
- (4) 受診率の向上のためにどのような対策を講じているのか
- (5) 相談窓口の設置状況はどうなっているのか
- (6) 本市のがん対策に対して、市民からどのような要望があるのか
- (7) 医療機関に対して、本市としてどのような要望をしているのか
- (8) 先進県及び先進都市の対策はどうなっているのか

5 (仮称)第11次秋田市総合計画について

- (1) 学校教育におけるスポーツの役割について
- (2) 人を育むためのスポーツの役割について
- (3) 家族や地域のきずなが希薄になってきている中でのスポーツの果たす役割について
- (4) 家族や地域、人のきずなを育むためのスポーツ以外の取り組みについて

1 市長の政治姿勢について

- (1) 衆議院総務委員会の地方公聴会に出席しての所感はどうか
- (2) 本県で発生した児童・幼児殺人事件及び全国的に多発している児童虐待やいじめ事件について
  - ア 事件発生の原因はどこにあると思うのか
  - イ 児童虐待やいじめの根絶に向け市民総参加の協力を求めているかどうか

2 (仮称)第11次秋田市総合計画について

- (1) 企業誘致を担当する組織体制をどうするのか
- (2) 新規起業者の育成対策はどうか
- (3) 建築物について、日照問題や屋根の雪止めの設置など、トラブルを未然に防ぐための対策はどうか
- (4) 9年間の計画期間を通して、政策に基づく財政計画を明示すべきではないのか

3 財政の健全化について

- (1) 起債の抑制や繰上償還を積極的に行い、市債残高の減少に重点的に取り組むべきと思うがどうか
- (2) 自主財源比率の今後の見通しはどうか、また、目標値を設定すべきと思うがどうか

4 監査指導室の体制強化について

- (1) 指導体制の強化に向け職員を増員すべきと思うがどうか

5 在宅子育てサポート事業について

- (1) 事業内容と利用方法について説明不足はないのか

## 6 伝統工芸について

- (1) 伝統工芸に対する支援策はどうか
- (2) 技術・技能の伝承は行われているのか

## 7 農業政策について

- (1) 農産物の海外販売戦略を検討できないのか
- (2) 無農薬及び有機栽培など、特色ある農家を育成すべきではないか
- (3) 学校給食に対し、良質で安価な食材を安定的に供給できる体制を早急に確立すべきではないか

## 8 道路管理及び整備について

- (1) 市道を私有地として不法占有している箇所はないのか
- (2) 市道を不法占用している障害物に対し、どのような措置を講じているのか
- (3) お年寄りや子供が安全に通行できるよう、段差の解消や横断歩道の設置など、思いやりの視点に立った道路整備を推進すべきと考えるかどうか

## 9 豪雨による災害対策について

- (1) 下新城笠岡及び一部飯島地区の水害について
  - ア 新城川の整備のあり方に対する問題認識と今後の県への要請について
  - イ 草生津川の維持管理に対する問題認識と今後の県への要請について
  - ウ 横山金足線の盛土に問題はないのか
  - エ 今後の対策はどうか

## 10 除排雪及び降雪時の対策について

(1) 降雪時の公共交通のあり方について

ア 積雪のレベルに応じ、一般車両の通行規制を検討すべきと思うかどうか

イ 積雪のレベルに応じ、公共車両優先レーンの設置を検討すべきと思うかどうか

ウ 主要な幹線道路は、4車線を確保すべきと思うかどうか

(2) 工場から排出される温水を利用した雪捨て場を検討できないのか

(3) 共同使用の融雪機械購入に対し、支援する考えはないのか

11 秋田駅東第三地区土地区画整理事業について

(1) 今年度末における全体及び西側区域の進捗率はどうか、また、西側区域の完成目標年度はいつなのか

(2) 関係町内会会長連絡協議会との合意はできているのか

12 秋田わか杉国体について

(1) 19年度に要する総事業費についてどのように考えているのか

1 財政関係について

- (1) 本市の15年度から17年度までの実質公債費比率の平均は幾らか、また、今後の見通しはどうか
- (2) 現在、国で検討が進められている再生型破綻法制の内容について
- (3) 平成19年からの税額変動イメージを広く市民へ周知すべきと思うがどうか
- (4) 地方交付税に関する国の動向と自治体の財源の見通しについてどう考えているのか、また、今後、地方公共団体は自立していけるのか

2 市職員の意識改革と実行について

3 環境行政について

- (1) 家庭ごみの減量化について
  - ア 家庭ごみの有料化について
  - イ さらに減らす手段があるのか
  - ウ ごみ減量指導員の設置を検討すべきではないか
- (2) 溶融炉から排出される溶融スラグについて
  - ア 溶融スラグの利活用の促進について本市としてどう対応するのか、また、販路等の拡大についてどう考えているのか

4 第16回統一地方選挙の投票率向上について

- (1) 投票率をアップさせるため、これまでどのような取り組みをしたのか、また、新たな取り組みはあるのか
- (2) 啓発経費は費用対効果などを考えて支出しているのか

5 安全・安心のまちづくりのための防災対策について

- (1) 危機管理の特質について

- (2) 効果的な危機管理について
- (3) 自治体職員としての高い共通の見識について
- (4) 危機管理の課題について
- (5) 地域防災計画の落とし穴とは何か
- (6) 難しい計画書とは別に、市民が行動するために必要とする市民行動  
応急対策が急務と思うがどうか
- (7) 空き家の把握とその対策について
- (8) 本市の想定地震による被害額は算出しているのか、また、その積算  
根拠はどうか
- (9) 救援物資の備蓄の方法も考慮すべきと思うがどうか
- (10) (仮称)第11次秋田市総合計画の基本構想を踏まえ、本市の地震対  
策の位置づけはどうなっているのか

1 市長の政治姿勢について

(1) 平和の問題について

ア イラク戦争が最大の争点であった、アメリカの中間選挙で示されたアメリカ国民の意思を、市長はどう評価しているのか

イ 小泉前内閣によるイラクへの自衛隊派遣は誤っていたのではないかと考えるが、市長の見解はどうか

ウ 「日本核武装論」については、「非核三原則」を掲げる被爆国日本の政権党の幹部、閣僚としてふさわしくないのではないかと考えるが、市長はどのように受けとめたのか

エ 第二次世界大戦で最後の空襲を受け、不戦の誓いを訴え続けている秋田市の市長として、「秋田市国民保護計画」の策定は中止し、秋田市国民保護協議会を解散すべきと思うがどうか

オ アメリカ軍の戦争を支援する仕組みの有事法制は撤廃するよう、政府に対し求めるべきと思うがどうか

(2) 国民健康保険に関する問題について

ア 国民健康保険は憲法第25条の生存権を医療の場面で保障する制度であり、「保険料の支払いができなければ、医療サービスは受けられない」というのは、制度の趣旨を否定するものであるが、市長はどのように考えているのか

2 教育問題について

(1) このたびの教育基本法改正は、国家権力の教育への介入を強めることになるのではないかと

(2) 子供や学校の競争を激化させ、学校間の格差や児童生徒の差別につながる「全国学力・学習状況調査」に、本市は参加すべきでないと考えられるがどうか

(3) 教員間の連帯をなくし、競争をあおり、子供の問題に教師・学校が

共同して向き合えなくする人事評価システムを、市は行うべきでない  
と思うがどうか

- (4) 教育基本法の改正で子供たちがいじめやストレスから解放され、のびのびと個性を伸ばすことができると考えているのか
- (5) 高校進学に通学区制が廃止となり、秋田市外への通学を余儀なくされた生徒が多く出ているが、市として市立高校の定員増の検討や県立高校の定員枠拡大を県に働きかける考えはないか
- (6) 市内に放課後児童クラブ及び児童館等のない地域には、新たな「放課後子どもプラン」も生かし、早期に子供の安全・安心を確保していくべきと思うがどうか

### 3 保育所の民間移行について

- (1) 行政改革大綱に基づき、移行ありきで進めようとしている港北、川尻の公立保育所の民間移行は、保護者から受け入れられておらず、中止すべきと思うがどうか

### 4 医療と介護について

- (1) 療養病床の大幅削減に向けて病院から入院患者が追い出されていくということから、実態を調査し、適切な支援策を講じていく必要があると思うがどうか
- (2) 4月の診療報酬改定でリハビリが制限された患者の実態を把握し、支援すべきと思うがどうか
- (3) 介護報酬改定により、これまでの車いすなどの福祉用具の貸し付けが受けられなくなった方々の実態を把握し、市独自の補助制度をつくり、支援していくべきではないか
- (4) ケアプラン作成の制限により「ケアマネ難民」が生まれているが、実態をどうとらえているのか
- (5) 地域包括支援センターでも今と同じような「ケアマネ難民」が発生するのではないかと、また、市はどう対応しようとしているのか

## 5 人にやさしいまちづくりについて

### (1) 街区公園について

ア 街区公園の堆雪場としての機能を高めるため、市民が利用しやすいように、今後、入口の増設や段差の解消、拡幅、車止めの設置、排水対策など計画的に改善すべきと思うがどうか

### (2) 駐輪場について

ア 秋田駅東口、西口の公共の駐輪場は、特に女性やお年寄りに使いにくいと不評であり、もっと使いやすいものに改善すべきと思うがどうか

イ 両駐輪場について料金を軽減すべきではないか、特に秋田駅東口の料金については、アルヴェ利用の車の駐車料金との整合性を図り、無料化も検討すべきと思うがどうか

ウ 日赤・婦人会館跡地の開発構想では無料の駐輪場を設置する計画があるが、現在の秋田駅東口・西口のようなものでなく、女性やお年寄りにも使いやすいものにすべきと思うがどうか

### (3) 文化会館南側大駐車場は、アスファルト舗装や出入口の改善などを行い、もっと使いやすいように整備すべきと思うがどうか

### (4) 秋田東中学校の西側の市道は道路幅が狭く、朝夕の車や歩行者の交通量も多いことから、生徒の通学やお年寄り及び障害者の通行が大変危険となっており、歩道を設けるなど安全対策を講ずるべきと思うがどうか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 人が輝く人間主義の社会づくりを目指すべきと考えるが、本市の目指すべき将来都市像に対する市長のビジョンと決意はどうか

2 職員の危機管理意識の向上について

- (1) 「ハインリッヒの法則」の理念を日常業務の中で実践していくための取り組みについて

3 防災対策について

- (1) 災害ハザードマップで避難対象となっている市民はどれくらいか、また、同マップを活用することで、どれくらいの市民の避難を確保できると考えているのか

- (2) 災害ハザードマップの活用に向けた市民への啓発について

ア 専門知識を持った説明員による、市民への啓発の機会を設けるべきではないか

イ 一定期間の中で啓発活動を進めていくための説明員の確保及び能力の向上について

- (3) 市民の防災意識を高めることにより、災害時の混乱を回避する方策を検討すべきではないか

- (4) 雄物川、旭川、太平川及び草生津川以外の河川に関する災害ハザードマップの作成計画について

- (5) 災害時情報提供システム「防災ネットあきた」について

ア 登録者数の現状及びシステムの稼働状況について

イ 今後、登録者をふやし、システムの実効性を高めていくための方策について

- (6) 災害時の情報伝達手段について

ア 災害情報をどのような手段で市民に対し迅速に伝達するのか、ま

た、地域によって伝達手段に違いはあるのか

イ 防災無線の整備について

(7) 災害時要援護者対策を充実させていくための具体的な取り組みについて

(8) 河川改修事業における県との役割分担及び協議の状況について

#### 4 消防行政について

(1) メディカルコントロール体制の整備状況について

ア 救急救命士による気管挿管の現状と課題について

イ 本市におけるメディカルコントロール体制の充実と強化のための具体的な取り組みについて

(2) 消防団員の実態と将来的な課題並びに団員の確保策について

#### 5 秋田わか杉国体について

(1) リハーサル大会を実施して競技運営面で見えてきた課題は何か、また、本大会に向けてどのような対応をしていくのか

(2) のじぎく兵庫国体を視察し、研さんを積んだ成果を本大会の実施に向けてどのように生かしていくのか

(3) 本市のボランティア活用の基本的な考え方について

(4) 国体期間中の救急体制について

#### 6 斎場の整備等について

(1) 改築事業の出発点は、近隣住民の理解を得ることであり、早期に説明会を実施すべきではないか

(2) 現在の施設は老朽化が進んでいることから、早期に改築事業を実施すべきではないか

(3) 改築事業の実施に当たっては、PFI手法の活用も検討すべきではないか

(4) 雄和火葬場は今後廃止する予定なのか、また、廃止となる場合は、

現在の施設を含めた跡地の利活用をどのように考えているのか

## 1 市長の政治姿勢について

## (1) 市民生活と生存権（憲法第25条）について

ア 魁新報の「声の十字路」に7月から9月にわたり、増税や国民健康保険税・介護保険料のアップ等による年金生活者の生活苦の声やすさまじい訴えが載せられており、本市の窓口にも多数問い合わせがあったという。記事の中には「本市の為政者は、この状況に何のコメントも出せないものか」との訴えもあったが、なぜこれにコメントできなかつたのか、加えて、自殺問題、児童虐待問題などがあり、これらはまさに、国の社会保障全体の後退状況をあらわしている。この状況は、憲法第25条の生存権が侵害されていると思うが、市長の見解はどうか

(2) 一方、大企業利潤の増大、格差社会の深まりの中で、政府税制調査会は、新たに企業減税方針を取り決めようとしているが、市長は税調特別委員としてどのように考えているのか、反対に、高所得者、低所得者への税率をかつての応能による税制に改正すべきと思うがどうか

(3) 我々非核宣言都市として、北朝鮮の核実験を契機に、麻生外務大臣、政権与党の自民党中川政調会長などの核保有発言は、国是としての非核三原則を無視したもので許されないことである。両名に対する抗議と、また、安倍首相に対するあらためての非核三原則堅持を申し入れすべきと思うがどうか、さらに、非核宣言都市のあり方として、今こそ市民はもちろん市外から訪れ、あるいは本市を通過する人たちにも広く本市の決意を示すため、他市町村のごとく大看板を東西南北、中央地区に掲示し、戦争反対・核なき平和への決意を示すべきと思うがどうか

(4) 最近の国家賠償にかかわる司法判断に対する市長の見解について

ア 報道によると、最近の最高裁判決での筑豊じん肺訴訟、水俣病訴訟、B型肝炎訴訟や地裁でのトンネルじん肺訴訟等は、労働者、国

民の健康を二の次にしてきた行政の結果であり、まさに、国の行政の誤りと責任が軒並み問われたものである。これらは、根本的に人間を、そして人権を尊重しない行政体質の変革を求めたものであると思うがどうか

(5) 副市長制、庁内組織機構及び人事について

ア 副市長制設置の目的は何か、また、これは民選市長の権限縮小にならないか

イ 副市長の人数、位置づけ及び権限はどのようになるのか

ウ 副市長の外部登用は考えているのか

エ 副市長制に伴う部局の組織再編はどのように考えているのか

オ 収入役と会計管理者の違いは何か

カ 副市長制によって市民サービスは充実・向上するのか

(6) 教育基本法改正について

ア 教育の根本は、子供の人権、個性尊重、人間教育であり、国の介入があってはならない。今回の改正では国を愛するいわゆる愛国心教育が指導されると思うが、どのように考えているのか

イ これは国による教育内容への不当介入になるのではないか

ウ 改正後の教育基本法では、国が「教育振興基本計画」を作成することになり、「全国学力・学習状況調査」を実施することが盛り込まれており、競争がより激しくなるものである。これは子供の競争主義的教育につながり、子供のストレスを強め、いじめにもつながることが予想されるがどうか

エ 子供の人格や個性を尊重する秋田市子ども条例の基本理念と改正教育基本法の理念は相反するものになると思うがどうか

2 福祉施策の充実について

(1) 新年度予算編成に向けて、各課において従来に比べ改善すべき内容や新規に考えている施策があるのかどうか、また、19年度に廃止、縮減するものはあるのか、さらに、それらに伴い各課の予算額は予算要

求ベースではふえているのかどうか

(2) 子育てにおける経済的支援である乳幼児福祉医療助成制度については、県の制度を乗り越えて市単独助成策を打ち出し、大幅に改善すべきと思うがどうか

(3) 生活保護について、17年度決算要求資料では相談件数1,210件、申請件数562件、適用件数376件とあるが、相談と申請の差648件が申請に至らなかった主な理由は何か、また、申請と適用の差は186件であるが、この中で申請を却下された件数はどのくらいあるのか、さらに、再申請後の適用・却下件数は幾らか

(4) 本市において介護施設の17年9月末時点の入所待機者が3,200人を超えている状況の中で、17年度決算の反対討論において、たった1人の増床もできない点を指摘したが、市長の1期目の公約では全員入所で福祉日本一を目指すこととされていたものの、今その意気込みを感じないものである。また、2期目の公約では特別養護老人ホームの100床増床を打ち出したが、まだ目に見えない状況である。100床増床を完全にやり得るのかどうか、また、重ねて、苦しんでいる市民の実情を考え、全員入所を目指した公約の一環として、100床増床に加えて、さらに本任期中にもう100床ふやすという決意を聞きたいが、どう考えているのか

(5) 介護保険事業における18年度の黒字をどの程度見込んでいるのか、また、18年度末の秋田市介護保険事業財政調整基金の残高はどれくらいになると見込んでいるのか

### 3 公務員労働者の権利及び時間外勤務について

(1) 公務員労働者に対するバッシングが激しいが、原則的問題として、本来、公務員労働者にも民間労働者同様に団結権、団体交渉権、争議権の三権が確保されなければ、公務員労働者の権利、地位及び待遇は保障されない。この労働三権は世界の労働者が獲得した権利だが、残念ながら日本は遅れている。しかし、今日、ようやく人事院の廃止や

争議権の付与などが問題視されてきたが、本市における使用者と公務員労働者の関係についての問題をどのように考えるのか

(2) 今、全国的に時間外労働の実態と残業手当及びサービス残業などが問題になっているが、本市職員の時間外勤務の実態と対応について

ア 17年度の各部局の中で上位5部局の1カ月1人当たりの平日の時間外勤務の平均時間と休日(土日・祝日)勤務の平均時間はどうなっているのか

イ 時間外勤務している職員は、すべてが職務命令を受けているのか

ウ 時間外勤務及び休日勤務は健康管理上の問題が懸念されるが、17年度の各部局の中で上位5部局の1カ月1人当たりの深夜勤務の平均時間はどれくらいか、また、1カ月の最長時間外勤務は何時間であったのか、さらに、1日の時間外勤務及び1カ月の合計時間外勤務それぞれに対する制限はどうなっているのか

エ 時間外勤務命令を受けた者の時間外勤務手当は、正しく支払われているのか

オ 職員の間で、時間外勤務及び休日勤務に関する公式に言えない悩み、苦情及び不満などを耳にすることはないのか、また、それらへの対応はどうなっているのか

カ ノー残業に向けた就業体制、職場内調整等の深い連携が必要だが、当局の目標と管理体制の改善は考えているのか

キ 本市の17年度の総残業時間数はどれくらいか、また、1カ月当たりの平均残業時間数はどれくらいか

#### 4 史跡秋田城跡問題について

(1) 昭和62年度に策定した秋田城跡整備基本計画の内容はどうか

(2) 高清水の丘歴史の杜博物館構想の内容はどうか、また、具体的にどう進んでいるのか

(3) 秋田城跡については、今後の観光資源としての活用も視野に入れ計画的整備を進めるとしていたが、どのように進められているのか、ま

た、現状はどうか

- (4) 秋田城跡整備基本計画と高清水の丘歴史の杜博物館構想の内容をパンフレットにして広く市民に周知すべきであるがどうか、特に、土崎、寺内、將軍野地区には住民要望もあることからぜひ周知すべきであるがどうか

- (5) 今日までの経過等について

ア 平成9年と10年の一般質問において、「平成10年から12年の歴史資料館の建設及び資料館と旧国道をつなぐ連絡橋の建設の年次事業計画の現状はどうか」「平成15年までの古代水洗トイレの地上復元と鷓ノ木地区の整備計画の現状はどうか」「平成16年から18年まで政庁の復元工事を平成19年秋田国体にあわせ完了すべきと思うがどうか」との質問に対し、答弁では、資料館と連絡橋は平成11、12年度で建設する計画であると明快であり、水洗トイレについては平成16年度まで検討してまいります、また、政庁の整備計画は平成16年から18年までで変更はなく国体までに完了の予定となっていたものである。加えて、平成11年の一般質問における同様の質問に対する答弁では、「秋田城跡の環境整備につきましては、計画に沿って整備を進めており、さらに充実を図ります」ときっぱりとしており、また、「政庁・古代トイレ復元につきましては、(中略)大規模な国の補助事業を活用し、予定年次内の整備に向けて努力してまいります」としっかりしたものであった。しかし、国への働きかけや計画を推進する姿勢が、その後、今日ではしぼんだ印象を受けるが、そのような懸念はないのか、また、平成16年の一般質問の答弁で、政庁建物関係で歴史学・建築学上、建物の上部構造の歴史的解明が難しいとのことであったが、政庁建物の解明は打ち切るということなのか、さらに、この解明と関連するものとして、現在20分の1模型が計画されているが、10分の1模型は絶対再現できないのか

- (6) 秋田わか杉国体を控え、たとえ政庁建物がなくても秋田城跡の宣伝を促進するため、政庁域築地塀を60メートル完全に復元すべきと思う

がどうか、また、外郭東門から政庁域築地塀までの大路についても完成すべきと思うがどうか、さらに、秋田城跡にかかわる諸団体と連携し、共同企画として国体に訪れるおよそ1万2,000人と言われる人々を必ず引きつける大宣伝が必要であるが、例えば、期間中、外郭東門築地塀、政庁域築地塀にそれぞれ24本（正殿の柱数だけ）の大きなのぼりを立て、歓迎と案内をする施策を実施すべきではないか

(7) 国体来訪者にトイレを模倣した簡単な贈り物、特産ふれあい市、茶会、また、秋田青年会議所の皆さんが演出した古代衣装をまとった行進と踊り、トークの再現、さらに、野宴や花火の打ち上げなどを計画し、史跡秋田城跡ここにありと大宣伝すべきではないか

(8) これらのイベントを行うとともに、平成21年の秋田市制120周年に、史跡秋田城跡総括トークを計画し、その整備の充実と推進を図るべきであり、少なくとも資料館建設計画を具体的に進めるべきだと思うがどうか

5 秋田市子ども条例に基づく具体的な施策の推進を図るため、来年度の予算措置をどのように考えているのか

6 中通一丁目地区市街地再開発事業について

(1) 今定例会の市長説明及びさきの新聞報道では、公共公益施設として佐竹史料館を核に、県立美術館、県児童会館の機能を盛り込み、歴史施設と文化施設を統合した（仮称）秋田統合文化センターが計画されているとのことであるが、機能の統合とは移設ではないのか、また、歴史施設と文化施設の統合とは新たな施設づくりになるのか

(2) 総事業費は100億円とも200億円とも言われているが、かつて、13年度に中央街区のまちづくりとして、大・小ホール建設費だけでも100億円を大きく超えるとともに、年間維持費も5億円を超えとも言われた（仮称）芸術文化ホール計画が消滅した原因は何であったのか

(3) （仮称）秋田統合文化センターは、再び莫大な事業費を伴う同じケ

ースの箱物計画のようであるが、この一極投資と、市民が求めている雇用拡大政策、産業政策、子育て支援による人口減少対策及び市民生活の安定を目指した福祉政策の充実への投資では、どちらが秋田市全体の活力を生むと考えているのか、また、費用対効果の面からもどう考えているのか

(4) まちづくりとは商業サイドだけの問題ではなく、この地区でいえば千秋公園と対置した、緑豊かな、やすらぎのある、落ち着いた環境地区形成としての新たなまちづくりを再検討してもよいのではないかと、また、商業としてもこの雰囲気の中で生きていくアイデアと努力が求められているのではないかと

1 本市職員を取り巻く状況等について

- (1) 特殊勤務手当の実態と今後の方針について
- (2) 職員互助会に対する補助金の今後の方針について
- (3) 本市職員の休暇に関する規則はどのようになっているのか、また、奈良市職員の病気休暇に伴う不祥事のようなことが本市ではないのか
- (4) 生活保護受給者の年金受給権の確認について
- (5) 本市が所有している普通財産の土地の内訳と宅地として売払いできる土地はどれくらいあるのか

2 財政について

(1) 市税について

- ア 市税における不納欠損額の原因別割合と固定資産税の不納欠損額が減少した理由について
- イ 市税の徴収について税務署や県税部納税課との連携をどのように図っているのか、また、不納欠損額を減少させるためどのような対策を考えているのか

(2) 財政運営について

- ア 17年度決算時における本市の実質公債費比率について
- イ 17年度末時点で本市実質公債費比率を他の中核市と比較した場合の位置とそれに対する認識について
- ウ 17年度末時点における本市の市債残高の利率別の内訳について
- (3) 企業広告収入についての本市の実績はどうか、また、命名権の売却も含めた今後の方針はどうか
- (4) 本市の地方債の調達に対する今後の方針について

3 教育について

- (1) 本市小中学校における米飯給食の実施状況と完全米飯化の検討につ

いて

- (2) メディア依存症に関する教員研修について
- (3) 「水の教育」の取り入れの検討について
- (4) 教員免許の更新制を導入した場合の効果について
- (5) 教育バウチャー制度の適用と問題点について
- (6) 学校教育に関する教育行政の仕組みについて

#### 4 入札制度について

- (1) 予定価格の決定について
- (2) 低入札価格調査制度の基準価格について
- (3) 基準価格を下回ったときの調査及び決定について
- (4) 最低制限価格制度について

#### 5 都市景観及び環境行政について

- (1) 都市景観に対する施策について
  - ア 都市景観条例に基づく都市景観地区の指定の実例について
  - イ 景観法に基づく景観計画策定の取り組み状況について
  - ウ 良好な景観を積極的に守る地区の指定について
- (2) マンション等の屋上緑化の推進について
- (3) バイオエタノールの活用についてどのように考えているのか
- (4) 本市における近年の一般廃棄物の状況と変動の要因について

1 市長の政治姿勢について

- (1) 親による子の殺傷事件など、昨今の異常な社会情勢に対する市長の  
思いはどうか
- (2) 秋田市しあわせづくり市民意識調査の結果を踏まえ、特に感じられ  
たこと及び新総合計画で特に力を傾注しようとしている点は何か
- (3) 今後の少子高齢化により税収減などが見込まれることから、後年度  
に多額の市債償還及びランニングコストが生じる新規施設の建設など、  
ハード面の事業は縮小すべきと考えるがどうか

2 企業誘致及び雇用問題について

- (1) 企業誘致推進のため、台湾の経済団体関係者と会談しているが、誘  
致企業の業種、会談内容、会談で得た感触及び今後の取り組みはどう  
か
- (2) 商工業振興条例における助成金について
- (3) 誘致企業の雇用状況及び労働条件と雇用促進施策について
  - ア 最近の誘致企業の雇用状況及び労働条件はどうか
  - イ 企業誘致だけではなく、地元企業の雇用促進を支援する施策も拡  
大すべきと考えるがどうか

3 秋田市観光振興計画について

- (1) 秋田市観光振興計画の中に取り入れた新規施策は何か
- (2) 短期及び中期の取り組み期間における取り組み内容と優先順位はど  
うか
- (3) 観光施策推進主体間で施策推進のための協議は行っているのか、ま  
た、行っている場合、その協議内容と決定事項はどうか
- (4) ホスピタリティ向上への取り組みをどのように展開するのか
- (5) 滞在型観光を目指すため、本市における観光動向のデータをどうと

らえ、それを踏まえ、どのような施策を取り入れたのか

#### 4 葬祭会場の提供・あっせんについて

- (1) 生活保護受給世帯など葬祭会場の確保が困難な方に対し、公民館及びコミュニティセンターなどの本市の施設も含め、葬祭のための会場を無償または低額で提供及びあっせんする考えはないのか

#### 5 地上デジタル放送への移行について

- (1) 地上デジタル放送の受信環境整備に係る国・県への要望について
- (2) 本市独自で共同受信施設等への支援施策を考えているのか

#### 6 河辺地域における市民の移動手段の確保について

- (1) 南部地域及び河辺・雄和地域を運行するバス路線の利用実態調査の内容と結果の活用について
- (2) 乗合型のタクシー車両を利用したデマンド方式の運行方法などを導入する考えはないか

#### 7 地域個性発揮事業について

- (1) この事業を活用して、地域住民の活動成果をどのように考えているのか
- (2) 河辺地域の「へそまつり」や「冬まつり」への新たな支援策の創設は考えているのか

#### 8 県道河辺阿仁線について

- (1) 整備促進期成同盟会にかわる新たな同盟会の設立に関する進捗状況について

1 高齢者福祉について

- (1) 介護保険法改正によって、本市の介護保険給付費はどのくらい抑制されるのか
- (2) 介護サービス基準の見直しによって、利用者からどのような反応があったのか
- (3) 施設入所状況と介護型療養病床の廃止に伴う受け皿の整備の考えについて
- (4) 来年度からの要支援1・2の認定者数と地域包括支援センター設置の準備状況はどうか
- (5) 後期高齢者医療制度によってどのようなメリットがあるのか、また、後期高齢者の保険料はどの程度と予測されているのか
- (6) 高齢者世帯や独居老人に対する今冬の除排雪体制はどのようになっているのか

2 コミュニティセンターについて

- (1) 今後のコミュニティセンターの改築や新築を含め、しっかりとした理念を持って整備方針を構築しておくべきと思うがどうか、また、整備計画はどのようになっているのか
- (2) 既存施設への指定管理者制度の導入が遅れているようであるが、今後の考えはどうか

3 ヤマビルについて

- (1) ヤマビルの現状認識と対策はどのようになされているのか
- (2) 太平山リゾート公園内の集客施設への影響を考慮し、県内の大学などに研究を依頼するなど、今からしっかりとした取り組みが必要と思うがどうか

#### 4 危機管理体制について

- (1) 今後具体的にどのような緊急事案に取り組んでいくのか、また、スケジュールはどのようになっているのか
- (2) 庁舎火災について
  - ア 本庁舎の防火体制について
  - イ 戸籍の保管状況はどうか、また、電算化を急ぐ必要があるのではないか
  - ウ 公文書については、地域センターや市民センター、支所などを含め、すべての部局でどのような日常的取り扱いがされているのか、また、保管状況及び今後の取り組みはどうか
  - エ 永年保存文書などが入っている地下総合書庫などを含め、保存文書の焼失を防ぐための取り組みについての考えはどうか

#### 5 環境問題について

- (1) 地球温暖化防止について
  - ア 本市の温室効果ガスの排出量の現状はどうか
  - イ 2012年までの割り当て削減量は達成可能なのか
  - ウ 今後実効性をさらに上げるための方策はどうか
  - エ 「温暖化対策実行計画」の実施状況と効果はどのようなものか
- (2) ごみ減量について、既存の取り組みに加えて新たなPR方法を考える必要があると思うが、これからのごみの減量についての取り組みと、市民への啓発はどのようになされるのか
- (3) 本市の酸性雨の現状はどうか
- (4) 本市の環境状況は総合的に見てどのような位置にあるのか

#### 6 秋田拠点センターアルヴェについて

- (1) 利用者の負担軽減策として行われた駐車料金の引き下げ効果はどうか
- (2) 市として民間棟を含めた施設全体の活性化に向けてどのようにかか

わっていくのか

- (3) 名実ともににぎわいを創出する拠点施設として、映画館の入館者確保のため、市の商業振興施策として時限的に何らかの支援は考えられないのか

## 7 教育問題について

### (1) いじめについて

ア いじめによる自殺を隠ぺいする体質が教育現場、教育委員会等にあったことに対する見解と、これまでのさまざまな調査等に対する信憑性についてどのように考えているのか

イ 教育委員会と学校現場との良好な関係を築くため、どのように考えているのか

ウ 一連の事件で学校、家庭、地域との連携に亀裂が生じかねないものと思うが、三者の関係構築に今後どのように取り組んでいくのか

エ いじめ防止についての考えはどうか

### (2) 未履修問題について

ア 小中学校での必修教科の履修状況はどのようになっているのか